

岡山県立矢掛高等学校（岡山県） 水辺のビオトープ その1

連絡先： 春田 竜太郎 riyuutarou_haruta@pref.okayama.jp
 森 生枝 ikue@po.harenet.ne.jp

写真	説明
	<p>【全体の様子】 扇状地のすそ野に位置し、2アールの面積を有する、石積みで囲まれた素掘りの池。池の周りには、樹齢100年近いクロマツを含む樹木が木立をつくっている。</p>
	<p>【特徴的な部分】 校外の井戸からの給水量が減少したため、校内に新たに浅井戸（写真左）を設置し、池の水源としている。 また、緩い流れをつくるために、揚・循環ポンプ（写真右）2基を設置している。これらの設置は、NPOの協力を得て行われた。保護対象種の飼育、増殖に適した流速が得られるよう綿密な設計が施されている。</p>
	<p>【工夫した部分】 池の中央に向かって張り出した樹木の枝は、被覆（カバー）として残し、あえて伐採しないようにしている。夏季の水温上昇を防いだり、サギ類など捕食者からの逃避場所になることを期待しているためである。</p>



【その他】石積み補修
 石積みの抜け落ちた箇所
 の補修は、伝統的な方法を用い
 て手作業で行っている。すな
 わち、入り込んだ樹木の根を
 取り除いた後、「あてがい」
 の石を入れ、隙間には、練つ
 た赤土に小石を混ぜ込んだ
 ものをに入れて棒で突き固め
 る。赤土や小石は現地で調達
 し、作業は卒業生による技術
 指導を受けて実施している。



【その他】泥あげ
 2013 年以降は毎年、12 月
 の考査終了後に、生徒ともに
 水抜きの手事を企画し、併せ
 てヘドロや外来種の除去も
 行っている。1 週間以上の天
 日干しにより硫化水素分を
 抜き、底質の環境改善を図
 っている。



【その他】外来種等の除去
 保護対象種の生息に悪影響
 を及ぼすと考えられるウシ
 ガエル、アメリカザリガニ、
 ドンコ、産地不明カネヒラを
 除去するため、もんどり(か
 にかご等)を設置している。
 除去した生きものの捕獲数
 および体長等も記録し、対策
 に反映させている。また、外
 水路に連絡する排水口にネ
 ットを被せ、増水時の生きも
 のの侵入や逸出を防止して
 いる。